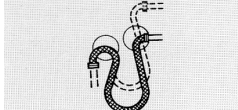
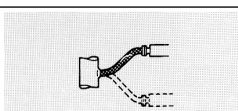
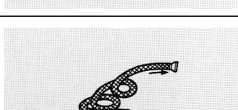


III, 正しい取付け方

誤	正	
		過度な屈曲は、チューブを傷めます。屈曲部分にエルボを使用して、チューブは真っ直ぐに取付けてください。
		無理な湾曲での使用はチューブの寿命を著しく縮めます。小さな湾曲部分には、パイプを使用して、チューブは許容湾曲半径を維持してご使用ください。
		同上
		連続的に屈曲する箇所は、特に注意が必要です。湾曲パイプの使用と、U字配管になるように、チューブの取付けを行ってください。
		同上
		連続的な水平運動のため、チューブがねじられるような屈曲荷重は大変危険です。ホースの動きに同調する回転ローラーを取付けることにより、無理な屈曲は避けられます。
		過度な屈曲は、チューブを破壊します。半円の滑車を取付けて、許容湾曲半径を維持してください。
		ロール巻きにしたホースの一方を引張って、使用しないでください。ロール巻きのチューブの許容湾曲半径を、維持してください。
		同上
		チューブの取付け部分に回転運動を伝えると、チューブがねじれます。回転ジョイントを取付けて、チューブをねじらないようにしてください。
		チューブを取付ける時に、両端部が運動方向と違った位置の場合は、ねじれを起こします。チューブの取付けは、運動方向に対して常に平行になるように取付けてください。

※曲げ固定配管の場合（繰返し曲げの無い時、超高圧使用でない時）は、最小曲げ半径の使用が可能です。